

社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会 (平成23年度 第1回)

議事概要

1. 日 時 平成23年11月 8日 (火) 15:00~16:30

2. 場 所 名古屋合同庁舎2号館 7階大会議室

3. 出席者

[委員長]

おおの えいじ
大野 栄治 名城大学都市情報学部教授

[委員]

うちだ としひろ
内田 俊弘 三菱UFJリサーチ & コンサルティング エコノミスト
おがわ ひかる
小川 光 名古屋大学大学院経済学研究科教授
すがわら あきふみ
菅原 章文 (社)中部経済連合会 常務理事
なかむら ひでき
中村 英樹 名古屋大学大学院工学研究科教授

4. 議 事

(1) 挨拶

・中部地方整備局 道路部長

(2) 対象事業

- ・一般国道414号(伊豆縦貫自動車道)河津下田道路(Ⅱ期)
- ・一般国道42号(近畿自動車道 紀勢線)熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

(3) 議事概要

<委員からの主な意見>

- ・リダンダンシーの確保、ミッシングリンクの解消が急務。
- ・一般国道414号(伊豆縦貫自動車道)河津下田道路(Ⅱ期)、一般国道42号(近畿自動車道 紀勢線)熊野尾鷲道路(Ⅱ期)については、「必要性、有効性の観点からも評価できるものである。」、「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。
- ・今回は東日本大震災も踏まえ、災害時における防災機能の評価をおこなっている点は高く評価できる。
- ・平常時における評価について、従来の3便益以外にも、通過交通と生活交通を分離することの意義や観光交通への寄与など、他にも評価すべき指標があり、新たな知見を取り入れる必要がある。